

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	8 月	28 日	記入者	岡村幸子
調査者名	久門	鈴木	橋詰	岡村	

調査対象先	浄照寺(浄土真宗本願寺派)				
所在地	田原本町584			電話番号	0744-32-2477
代表者 調査対応者	佐々木智住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1 件 1 棟	国宝:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂のもと回廊部分の壁に筋交補強。ワイヤーと鉄筋で屋根を釣り上げる形で補強(1968年)。耐震診断だけでも数百万円の費用と言われて診断はしておらず、現在の基準に合っているかは不明。
	今後の予定	特になし。
	要望	補強工事には膨大な費用がかかると思われるが、寺院側だけでは無理である。文化財指定を受けている本殿以外の建物も老朽化が顕著なので、こちらも耐震補強したい。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	2011年に漏電防止のため本殿の電気配線を入れ替えた。自動火災報知機を設置、火災発生時は警備会社に自動通報。消火栓、消火器、避雷針を設置し、夜間は閉門。定期的に防火訓練実施。
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

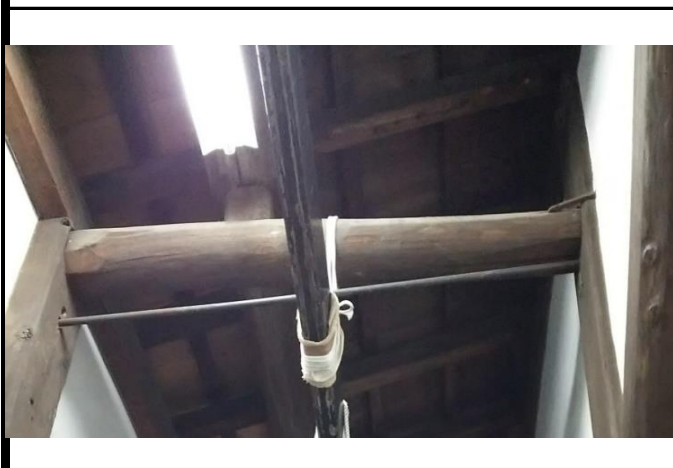
調査対象先	浄照寺(浄土真宗本願寺派)
-------	---------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	渡り鳥の糞が建物を汚す。被害はなかったが、防蟻施工(最終は2010年)。しかし薬剤の有効年数も短いので、発見したら駆除したほうがいいと業者に言われた。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

慶安4(1651)年創建の本堂(県指定文化財) 壁の筋交補強。天井近くに屋根補強用鉄筋も見える



鉄筋のアップ(左右方向)。屋根裏のワイヤーに続く



安政の大地震(1854年)で階段に被害が出た

【調査票記入者(岡村幸子)の感想】



耐震補強工事には膨大な費用がかかると思われるが、寺院側だけでは無理である。付近の道路が狭く、一旦火事になると大型消防車が入れないのが課題と思う。